

大牟田市立天領小学校

1 本校のESDの特徴

本校では、学校教育目標「共に未来を築く、心豊かで、かしこく、たくましい子どもの育成」の実現に向け、大きく二つの柱を立て、ESDを推進している。

一つは、体育科の研究を長年続けてきたことをいかして、体育科、生活科・総合的な学習の時間、道徳等を中心に、人々・社会とかかわる課題解決的な活動を重視し、「オリンピック・パラリンピック」を通じたESDを展開している。

もう一つは、大牟田市教育委員会と東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センターとの海洋教育推進協定の締結を受け、昨年度より「天領小学校・みなと小学校・天の原小学校の3校が連携した海洋教育」を通じたESDを展開している。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

◇オリンピック・パラリンピックムーブメント推進を以下の点で展開する。

- オリンピック・パラリンピックの歴史や精神について学ぶ。
- 教科学習指導におけるオリンピック・パラリンピックを生かした教材で学ぶ。
- 競技者とのふれあいを通じてその精神を学ぶ。

そのために、総合的な学習の時間を中心に、体育科、道徳、特別活動との関連を図る全体計画を策定している。

また、海洋教育の概念「海に親しみ、海を知り・海を守り・海を利用する」の学習を段階的・組織的に展開するために、3校の3～6年生が共通して取り組む年間活動計画を立案した。

学年	単元名	関連等	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
3年生	有明海・見つけた海の生き物！	海に親しむ 海を知る		天領祭りを開こう！ ・手廻見事前学習 干潟観察会（合同）					有明海の生き物を知ろう ・ムツゴロウなどの珍しい生き物の生態 ・ハゼやペンケイガニなどの身近な生き物の生態 ・生物と環境の関連			天領小海祭りをしよう ・生き物図鑑 ・有明海の生き物でつりゲーム			
		関連教科・学習等	社会「わたしたちのまわりのようす」		社会「わたしたちの市のようす」					社会「海苔作りの仕事」		社会「地域に残る年中行事」			
4年生	つながろう！つなげよう！私たちが諏訪川と有明海	海を守る 海に親しむ				つながろう！私たちが諏訪川 ・カヌー体験 ・生き物、植物教室			考えよう！私たちが諏訪川と有明海 ・諏訪川の上流から下流までの水質検査（バックテスト） ・生物指標を用いた水質検査 ・生活排水がどれくらい川の環境に影響を与えるのか実験			つながろう！私たちが諏訪川と有明海！ ・ポスター作り ・お手紙作り ・環境保全を呼びかける「川の日」イベント			
		関連教科・学習等	社会「住みよい暮らしのために、どう暮らすか」 理科「季節と生き物」	社会「住みよいらしく、水はどこから」	理科「季節と生き物」			道徳「ふれあいの森」	理科「季節と生き物」			理科「季節と生き物」	国語「食べます、みんなの生活」	理科「自然の中の水」 水はどこから	
5年生	地域の宝を調べよう！～三池港を中心とした地域学習～	海を知る 海を利用する							私たちは三池港や有明海についてどれくらい知っていたの？ ・三池港出前講座 ・船からの海洋ゴミ観察			三池港の歴史や役割を知ろう ・三池港出前講座 ・船からの海洋ゴミ観察 有明海や海の環境を知ろう ・ゴミ拾いと分類分け	三池港・有明海・海の新聞を作って考えを広げよう！ ・海洋利用と環境保全対話 ・新聞作りと発信		
		関連教科・学習等			国語「立場を決めて討論しよう」				社会「世界とつながる日本の工業」	理科「流れる水のはたらき」		国語「和の文化を受け継ぐ」			
6年生	海と人を通して見えた大牟田のまち	海を利用する 海を守る							大牟田ではたらく人の思いをもつたの？ ・近代化遺産見学 市長出前講座 三池港見学			團琢磨さんのように、これからの大牟田のまちを考えよう ・町作りの事例調べ ・海と関連させた町作り 海洋教育こともTV会議（合同）	まちづくりプレゼン大会 ・社会ではたらく人や市役所の方に町作りを提案する 海洋教育子どもフォーラム（合同）		
		関連教科・学習等						社会「新しい時代の暮らしと伝統的暮らし」 国語「資料を生かして呼びかけよう」	国語「資料を生かして呼びかけよう」	国語「町の未来をえがこう」		社会「私たちの暮らしを支える政治」			
学校行事			歓迎集会 遠足 修学旅行⑥	リレー大会 ④⑤⑥		野外活動⑤		運動会	地区競技会⑦	チャレンジ集会	持久走大会	ユネスコスクール集会	学習発表会	お別れ集会 遠足 卒業式⑧⑨	

3 特徴的な活動事例



3 すべての人に健康と福祉を

【全学年 特別活動 「パラリンピアンと交流しよう」】

ロンドン、リオパラリンピックのテニス競技に出場された川野翔太選手を招聘し、困難に打ち勝つ強い気持ちや周りの人への感謝の心が大切であることを講話で伝えていただいた。また、車椅子テニスの体験を通して、車椅子で動く難しさやパラリンピック選手のプレーのすごさを学ぶ学習を行った。



【川野翔太選手との交流】

学習後、4年生の総合的な学習の時間では、パラリンピアンに対して自分たちにできることを「応援したい」「知らせたい」「支えたい」の3つの柱で考えた。実際に作成したポスターや応援カード、新聞や手話を入れた歌などをもとに、校内では全校児童に、ユネスコスクール子どもサミットでは市内の方々に広く発信した。



14 海の豊かさを守ろう

【第6学年 海と人を通して見えた 大牟田のまち】

「海を利用する」をテーマに、4・5年生の学習を踏まえ「100年先の大牟田の未来を考える」学習活動を展開した。市長の出前授業を受け、見えてきた大牟田市の課題。ふるさと大牟田が魅力的なまちになるように、海や人を中心にしたまちづくりを考えた。



【市長による出前授業】

自分たちのアイデアや他地域の取組を参考に、まちづくりプランを立て、協力校とのテレビ会議で提案した。その後、市の広報課や港振興室、青年会議所の方々にも聞いていただいた。資金や土地活用の面など、自分たちだけでは気づけなかった指摘を受け、更にプランを練り直した。



【市職員の方からのアドバイス】

そのまちづくりプランを、九州地区6校の海洋教育パイオニアスクールで開催した子どもサミットで発表した。そこでの交流を通して、学びを深めることができた。

4 本年度の成果と課題

○成果

- ・本物のアスリートとの出会いは、子どもたちに大きな夢と今後の生き方を考える機会を与えてくれた。「自分に悩みはあるけれど、パラリンピアンとの悩みと比べると大したことではない。」という考えに至り、笑顔で前向きに生活できる児童が増えた。(オリ・パラ)
- ・学習の課題設定を明確にしたことで、その後の追究や行動・発信の学習をスムーズに行うことができた。また、数多くのG.Tの方々との出会い、話をさせていただくことで、新たな視点に気づき更に学習を深めることができた。(海洋教育)

○課題

- ・各教科との関連を明確にすることや、各学年の学習内容と系統性、学習課程の工夫等について、更に検討を重ねる必要がある。(海洋教育)